

開学40年 NiU Niimi University

課題先進地の現場で

存在意義

松田 新見公立大学の前身・新見女子短期大学が開学したのは1980年。岡山県北の中山間地域に短大をつくるのは大変だったと思います。公文 当時の赤木政一・新見市長の先見性とリーダーシップ、そして地方創生の基本は教育にあるとの信念で実現しました。本学は小規模の

特性を生かし、血の通った少人数教育を基本に質の高い教育カリキュラムの構築と改革を繰り返してきました。結果、中山間地域でありながら全国から学生が集まり、約5500人の専門職人材を輩出しています。

松田 本年度、新・健康科学部の1学部3学科(健康保育・地域福祉・看護)体制に改革した狙いは、

公文 人口減少が進む中、「健康やかな子どもの発達」心の豊かさの

新見公立大学 理事長・学長
公文 裕巳 氏



くもん・ひろみ 1949年高知県生まれ。岡山大学医学部卒、同大学院医学研究科修了。同大学院泌尿器病態学教授などを経て2015年新見公立大・短大副学長。翌年4月から現職。がんの遺伝子治療薬開発などにも取り組む。

保育、福祉、看護の 高度専門職を育成

向上「高齢者の健康寿命の延伸」この三つに正面から取り組む健康科学部をつくりたいと考えました。社会的弱者の支援はもとより、「病気や障害をもちながらも、社会に適応してその人らしく生活している状態が『健康』であり、それを支える人と仕組みを構築すること」が健康科学の目標です。

松田 旭川には実習を優先的に受け入れるだけでなく、専任教員として二人が大学に移籍しました。

座談会

「誠実、夢、人間愛」を建学の精神に、1980年に公立短期大学として開学し、40年の節目を迎えた新見公立大学(新見市)。本年度、全学4年制に移行し、健康科学部の1学部3学科(健康保育・地域福祉・看護)に生まれ変わりました。中山間地域にある公立大学の使命として、3学科が連携して地域共生社会の構築に貢献する教育と研究を深化させていきます。大学の取り組みや展望について公文裕巳学長ら4人に語り合っています。司会：松田正己・山陽新聞社代表取締役社長。

(文中敬称略)

新見公立大学客員教授
日本総合研究所主席研究員
藻谷 浩介 氏



もたに・こうすけ 1964年山口県生まれ。88年日本開発銀行(現日本政策投資銀行)入行。2012年(株)日本総合研究所主席研究員。著書に「里山資本主義」など。18年10月から新見公立大客員教授。

「天の時、地の利、 人の和」そろそろ

末光 開学時からご縁があり、旭川市の江草安彦・前理事長が赤木市長の思いに共鳴し、これまでも有能な人材を送り出しています。本年度は自閉症・発達障害の専門家ら二人が教授と助教に就きました。私たちは障がいのある人が高等教育に進めるよう「カレッジ教育」を実践しており、研究面の連携も期待しています。

松田 人口減少、少子・高齢化など「課題先進地」にある大学の存在意義をどうにお考えですか。

藻谷 新見に広域から人を呼べる産業は「大学」です。山あい清流が流れる落ち着いた環境で、まじめな学生たちが地域の現実を教材に勉強できている。保健福祉系の公立大学は珍しく、教育の質が高いこと、交通の便が意外とよいことが優れた

健康保育学科

松田 「地域ぐるみで支えあう保育」を掲げる健康保育学科は、どのような取り組みを進めていますか。

公文 保育士資格と幼稚園教諭1種、特別支援学校教諭1種の免許に加え、本学独自の称号「こども発達支援士」を取得します。子どもの発達には多様性があることを理解し、発達障害など「気になる子」や育児保育に対応できる理想の保育者を育成します。新見市内全てのこども園と保育施設を健康保育学科の付属扱いとし、学生が実習するのも特徴です。

末光 発達障害は今や特別のものではなく、保育段階から学校教育まで一貫して学べるのが貴重です。

藻谷 子どもが個性に応じて育つために地域ぐるみで保育者を育成するのも最先端モデル。日本中に広まってほしいですね。

西村 資格の多さに驚きました。学生も先生も大変ですが、理念と併せて学ぶことで、資格取得だけに終わらない優秀な人材が育つと思います。

40年のあゆみ

- 1980年 新見女子短期大学開学(広域事務組合立)看護学科、幼児教育学科設置
- 1996年 地域福祉学科を新設
- 1999年 新見公立短期大学に校名変更看護学科、幼児教育学科を男女共学化
- 2000年 地域福祉学科を男女共学化
- 2004年 地域看護学専攻科を新設
- 2005年 1市4町合併に伴い新見市立の短期大学になる
- 2006年 独立行政法人大学評価・学位授与機構から認証評価(公立短期大学第1号)
- 2008年 公立大学法人化
- 2010年 新見公立大学開学看護学部看護学科設置
- 2014年 大学院開学 看護学研究科設置
- 2015年 助産学専攻科開設
- 2017年 看護学部を健康科学部に名称変更
- 2019年 新・健康科学部開設健康保育・地域福祉・看護の1学部3学科体制になる(全学4年制大学化)

北海道・名寄市立大学と 学術交流協定

学術交流協定締結式

名寄市立大学 新見公立大学



新見市内で開かれた締結式で、協定書を交わす名寄市立大学の佐古和廣学長(左)と新見公立大学の公文裕巳学長

新見公立大学は昨年10月、北海道の名寄市立大学と学術交流に関する協定を締結しました。全国で人口3万人を切る小規模自治体にある保健福祉系の公立大学は、この2大学だけです。今後は学生や教職員の交流、研究・教育の共同実施などを進めていきます。

地域共生社会を拓く 健康科学部

— 3学科が協働 —

保育・看護・介護・福祉のスペシャリスト養成

新見公立大学は本年度、すべての学科が4年制になり、健康科学部の1学部3学科(健康保育学科・地域福祉学科・看護学科)体制がスタートしました。健康科学の目標は「全ての世代の心と体の健康を支援すること」です。その基盤となる地域共生社会の実現に向けて、3学科が協働して保育、看護、介護、福祉のスペシャリストを養成します。

- 健康科学部 **健康保育学科** (各学年 定員50人)
- 地域福祉学科** (各学年 定員50人)
- 看護学科** (各学年 定員80人)

ホームページで最新情報をチェック!

<https://www.niimi-u.ac.jp/>
新見市西方1263-2



新しい学び 見つめて 大きく飛躍



新見公立大学・短期大学 後援会
会長 兒山 純子

健康保育学科



保育士・幼稚園教諭・特別支援学校教諭

看護学科



看護師・保健師・養護教諭・助産師

地域福祉学科



社会福祉士・介護福祉士

心と体の健康を支える看護

地域ぐるみで支えあう保育

共生社会の基盤を創る福祉